



平成28年12月14日

各 位

会社名 S M C 株式会社
代表者名 取締役社長 丸山勝徳
(コード番号 6273 東証第1部)
問合せ先 専務取締役 薄井郁二
管理本部長
電話番号 03-5207-8271(代)

当社の財務情報に関する一部報道について (第2報)

ウェル・インベストメンツ・リサーチ社は、12月13日付で公表したレポート(以下「本レポート」)において、当社の会計処理および会計監査に疑義がある旨を表明しておりますが、当社におきましては適正な会計処理を行っており、当社の単体および連結財務諸表は適正な会計監査を受けております。

以下、本レポートの主要な指摘に対する当社の見解をお知らせいたします。

1) 現預金の残高について

本レポートは「最低でも817億円の現金は存在しない可能性がある」としておりますが、本レポートが「不明」としている主要な連結子会社などを含め現預金残高を合計すれば、当社の連結財務諸表に記載の現預金残高とほぼ整合いたします。

なお当社は、海外子会社の現預金残高について、取引金融機関から残高報告書(担保差入れの有無を含む)を直接入手して確認しております。

2) 棚卸資産の計上額について

本レポートにも記載されているとおり、当社は同業他社様に比べて多くの棚卸資産を保有しておりますが、これは幅広い品ぞろえと短納期即応体制を実現しユーザーの皆様へのサービスの向上を図る当社独自の方針に基づくものであります。

棚卸資産の評価につきましては、会計基準に準拠して評価損を計上しており、本レポートにあるように陳腐化した多額の在庫を抱えているというような事実はありません。

3) りそな決済サービス株式会社に対する買掛金について

当社は従来、仕入先企業様への代金支払いについては、手形および期日現金によるお支払いを行ってまいりましたが、手形の発行および管理に関するコストの削減を図るため、手形によるお支払いを、りそな決済サービス株式会社が提供するファクタリング取引に移行いたしました。

本レポートは、当社のりそな決済サービス株式会社宛の買掛金が多額であることを疑問視していますが、上記のとおり、従来は「支払手形」の科目に計上されていた各仕入先企業様宛の仕入債務が、りそな決済サービス株式会社宛の「買掛金」に集約された形となっているものであります。

4) 連結対象とする子会社の範囲について

本レポートは、「SMCは、全子会社の46%（註：社数ベースの割合）しか連結対象としていない」ことを問題視していますが、当社は、連結財務諸表規則の規定に基づき連結の範囲を決定しております。

2016年3月期においては、子会社33社を連結対象とし、その他の子会社39社および関連会社1社については、経営成績および財政状態において金額的重要性が低く、グループ全体に与える質的重要性も低いため連結対象から除外しております。

なお本レポートは、当社について「連結対象となる子会社の範囲も過去頻繁に変更されている」としておりますが、そのような事実はありません。

以 上